

平成28年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 10 回	参加者数	16 名 参加団体 (なし)	
テーマ	いきものの冬越し			
実施日	平成29年2月12日	天候	曇り時々雪	
場所	少年自然の家			
コース	開会時刻 (13:00) 体育館下→ 建物南側 → 大門池 → 展望台 → キャンプ場→ 体育館下 解散時刻 (14:55)			
指導内容など	<p>指導内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時折雪の舞う寒い日であったが、冬らしさを体感できる良い観察会だった。 ・雪で地面がぬれていたため、坂道や階段では滑ることがあり、気を付けながら歩いた。手すりやロープなどがあるとよい。 ・実際に動物を見ることはなかなかできないが、足跡、爪痕、食痕、糞などから生活の様子を見た。イメージしやすいように、骨格や毛皮などを準備して、参加者に見てもらった。 			
参加者の声など (抜粋)	<p>参加者の声など (抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シカの食痕を見せてもらい興味を持った。化石の観察会もしてほしい。 ・雪の山の中で、いろいろな動物のフィールドサインが見られて、とても楽しかった。 ・とても楽しかった。また、参加したい。 ・雪が残っていたおかげで、動物の足跡が見られてよかった。鳥が少なくて残念だった。 			

観察記録 (観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類)	
植物	<ul style="list-style-type: none"> ・冬芽、葉痕の特徴など。 クロモジ、クリ、ウバメガシ、アセビ、ヒイラギ、オオバヤシャブシ、イロハモミジ、トチノキ、ウラジロ、カクレミノ
昆虫	<ul style="list-style-type: none"> ・水生昆虫は、冬の時期に観察しやすい。 シロタニカゲロウ、ヒラタドロムシ、カワゲラのなかま、オオカマキリ (卵囊)、シロスジカミキリ (死骸、幼虫の食痕)、クスサン (繭殻)
鳥	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥の出現が少なかった。 コゲラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、トビ、ヒヨドリ、ルリビタキ、ウソ (鳴き声)、ジョウビタキ、トラツグミ (羽毛)

動物	・骨格や毛皮などを準備して、実際には目にしにくい動物の姿をイメージさせた。 ノウサギ（足跡・食痕）、シカ（足跡・食痕）、アナグマ（足跡）、イノシシ（足跡）、ムササビ（爪跡・食痕）、リス（食痕）、モグラ（穴）
地学	四日市市街の地形と水沢扇状地の成り立ち
キノコ類	クチベニタケ
その他	けもの道、ウラジロの葉を使った遊び



シロスジカミキリの死骸



シカの糞